国立国会図書館 伊藤博文関係文書（その1）書類の部 288-6

215853
昭和23年1月18日

内勅ヲ奉シ謹ンテ現行鳥獣猟規則改正ハ法律ヲ要スルヤ否ヤノ問題ヲ議ス

現行鳥獣猟規則ノ改正ハ法律ヲ要スルヤ否ヤニ関ル農商務大臣司法大臣法制局長官及文書秘書官長ノ意見書並内務大臣ノ附箋ヲ閲覧スルニ農商務大臣ノ意見書ヲ除クノ外皆現行鳥獣猟規則ヲ改正スルハ法律ヲ要ストセリ然レトモ其ノ理由トスル所、明亮ヲ欠ケリ

先ツ法制局長官ノ意見書ニ就テ之ヲ観察センニ其ノ意見書ニ曰現行鳥獣猟規則ハ特別ノ場合ヲ除ク外一般ニ銃猟ヲ免許シ土地所有者ノ権

国立国会図書館　伊藤博文関係文書（その1）書類の部 288-6

利ヲ制限シタルモノナリト然レトモ現行鳥獸猟規則ハ一般ニ銃猟ヲ免許シ土地所有者ニ限テ別段ノ制限ヲ設ケス土地所有者ト雖規則ニ定メタル要件ヲ充タストキハ銃猟ノ免許ヲ得ヘシ特ニ土地所有者ノ権利ヲ制限シタリトハ謂フヘカラス或ハ一定ノ土地ノ上ニ於ケル狩猟権ハ其ノ土地所有権ノ一部ナリトシ而シテ一般ニ狩猟ヲ免許スルハ自由ニ他人ノ土地ニ於テ狩猟スルノ権ヲ認メタルモノナリトシ乃チ一般ニ狩猟ヲ免許スルハ土地所有権ヲ制限スルモノナリト論スルカ一定ノ土地ノ上ニ於ケル狩猟権ハ其ノ土地所有権ノ一部ナルヤ否ハ姑ク論セス現行鳥獸猟規則ハ自己ノ土地ヲ他人ノ狩猟ノ用ニ供セサルヘカラサルノ義務ヲ土地所有者ニ負ハシメス寅ロ第十三条ニ於テ何等ノ条件モナク其ノ所有地ニ随意ニ禁猟ノ制札ヲ建テ其ノ周囲ニ縄張又ハ假圍ヲナスヨトヲ許ルセリ換言スレハ土地所有者ハ何等ノ条件モナク自己ノ所有地ニ他人ノ狩猟スルヲ禁スルノ権ヲ有セリ故ニ現行鳥獸猟規則ハ他

人ノ土地ニ於テ自由ニ猟獵スルノ権ヲ認メタリトスルモ未タ直ニ所有権ヲ制限シタリトハ云フヘカラス

或ハ曰ハン第十三条ハ制札ヲ建テ周囲ニ縄張又ハ假囲ヲナスヘキコトヲ地主ニ命シタリ之ヲ反言スレハ制札ヲ建テス周囲ニ縄張又ハ假囲ヲナサヽル地主ハ其ノ所有地ニ他人ノ猟獵ヲナスヲ謝絶スルヲ得ストヽフニ因シト是レ未タ第十三条ヲ解釋シテ其ノ正鵠ヲ得タルモノト云フヘカラス第十三条ハ第十七条ト参觀スルヲ要ス第十七条ニハ此ノ諸規則ヲ犯ス者ハ若干ノ罰金ヲ科スヘシト規定セリ若第十三条ノ意味論者ノ解釋ノ如シトセハ地主ニシテ他人ノ銃猟ヲ有害トシナカラ制札ヲ建テス周囲ニ縄張又ハ假囲ヲナサヽルトキハ第十七条ニ依テ罰金ニ科セラルヽトヽフカ又ハ少ナクモ地主ニシテ他人ノ銃猟ヲ有害トシナカラ制札ヲ建テス周囲ニ縄張又ハ假囲ヲナサスシテ他人ノ銃猟ヲ謝絶スルトキハ第十七条ニ依テ罰金ヲ科セラルト云ハサルヘカラス第十三条ニ

国立国会図書館　伊藤博文関係文書（その1）書類の部 288-6

シテ果シテ此ノ如キ意味ナランニハ極メテ不道理不正當ノ規定トシテ法律ハ道理アルモノナリ正當ナルモノナリトハ解釋上第一ノ原則トス知ルヘシ論者ノ解釋ノ未タ正鵠ヲ得サルコトヲ蓋第十三条ハ其ノ立言或ハ完全トシテ云フヘカラス然レトモ第十七条ト參照スルトキハ又其ノ本旨ヲ推定スルヲ得ヘシ即チ第十三条ハ土地所有者其ノ所有地ニ禁猟ノ制札ヲ建テス周圍ニ縄張又ハ假囲ヲナサヽルトキハ他人其ノ地ニ於テ猟猟ヲナスモ犯罪トナラス

トシテ過キス此ノ如ク解釋スルトキハ猟猟ハ田野山林等自他ノ經界一般ニ他人ヨリ見テ判別シ難キ場所ニ於テ為スモノナルカ故ニ第十三条ハ始メテ道理アリ且正當ナル規定トシテ云フヘシ而シテ又此ノ如ク解釋スルトキハ他人ノ猟猟ヲ何時ニテモ随意ニ謝絶シ又ハ報酬ヲ得テ若ハ報酬ナクシテ随意ニ他人ノ猟猟ヲ許ルス土地所有者ノ權利ハ第十三条ノ為ニ何等ノ制限ヲ受クルコトナシ

法制局長官ノ意見書ニ於テ現行鳥獣猟規則ヲ

法律ト見做スノ理由ハ主トシテ土地所有権制限ノ点ニアリ而シテ其ノ之ヲ土地所有権ノ制限ナリトスルハ一般ニ銃猟ヲ免許スルノ点ニアリ然レトモ其ノ一般ニ銃猟ヲ免許スルコト現行鳥獣猟規則ノ規定ノ如クナルトキハ土地所有権ノ制限トナラサルコト前段述フル所ノ如シ然ハ則チ其ノ意見書ニ於テ現行鳥獣猟規則ヲ法律ト見做スノ理由ハ明亮ヲ欠ケリト云ハサルヘカラス

且法制局長官ノ意見書ニハ自家撞着ノ点アリ

何ントナレハ該意見書ハ現行鳥獣猟規則ヲ以テ一般ニ銃猟ヲ許ルスカ故ニ土地所有権ヲ制限スルモノナリトシテ之ヲ法律ナラサルヘカラスト主張シナカラ末段ニ至テ張網繩縄等ヲ以テ特猟スル規定ハ勅令ヲ以テ之ヲ定ムルヲ得ヘシトセリ若一般ニ銃猟ヲ許ルスヲ以テ土地所有権ヲ制限スルモノトセハ一般ニ張網繩縄ヲ以テ特猟スルヲ許ルスモ亦土地所有権ノ制限ナラサルヘカラス何ントナレハ銃ト網繩トノ差別ヲ以テ土地所有権ノ制限ヲ為スト為

国立国会図書館　伊藤博文関係文書（その1）書類の部 288-6

サヽルトヲ區別スヘカラサレハナリ乃チ一般ニ銃猟ヲ許ルスノ規定ニシテ法律ナラサルヘカラサルニ於テハ一般ニ張網繩ヲ以テ猟猟スルヲ許ルスノ規定モ亦法律ナラサルヘカラス而シテ一ハ法律ヲ要スト云ヒ一ハ法律ヲ要セスト云フハ自家撞着ト云ハサルヘカラス

次ニ司法大臣ノ意見書ハ冒頭ニ猟猟ト捕漁ト相並ムテ一個ノ權利タルモノナリト云ヘリ然レトモ其ノ權利タルハ猟猟規則ヲ法律トセサルヘカラサルヤ否ノ問題ニ付テ何ノ關係アリヤ或ハ權利義務ニ關スル國家ノ規準ハ凡テ法律ヲ要ストノ見解ニ出ツルカ此ノ如キハ法律命令ノ分域ニ就テ正當ノ見解ト云フヲ得ス帝國憲法ノ規定ニ依レハ憲法ニ於テ法律ヲ以テスト明記シタルモノ及一タヒ法律トナリタルモノニ限リ法律ヲ必要トシ其ノ他ハ法律命令ノ分域ヲ畫セス而シテ法律命令ノ分域ニ付テ別ニ普通ノ原則ナルモノアリヤト云フニ亦之アルコトナシ曾テ勅命ヲ奉シテ歐洲ニ在リ各國ノ憲法ヲ研究スルノ際學者ニ就テ法律

国立国会図書館　伊藤博文関係文書（その1）書類の部 288-6

命令ノ分域ヲ質ス學者ハ截然タル分域ヲ立ツルモノナシ而シテ其ノ結局ノ說ハ止ムヲ得サルモノヲ除クノ外成ルヘク法律ト為サヽルニ在リ是レ行政權カ議會ニ制肘セラレテ國家ノ必要ニ應スヘキ活動ヲ失フニ至ルヲ虞ルヲ以テナリ又各國ノ實例ニ於テモ命令ニシテ權利義務ニ關ル規準タルモノ其ノ例少シトセス之ヲ要スルニ帝國ニ於テハ何ヲカ法律トスヘキヤ何ヲカ命令トスヘキヤト云フニ憲法ニ於テ必ス法律ナラサルヘカラストシタルモノ及

一タヒ法律トナリタルモノヽ外ハ全ク時ニ從テ變更スヘキ政畧上ノ問題ニ屬シ而シテ憲法全体ノ主義精神ヨリ之ヲ云ヘハ政畧上大体ノ方針ハ止ムヲ得サルモノヽ外成ルヘク法律ト為サヽルニアリト云ハサルヘカラス權利義務ニ關ル規定ハ必ス法律ヲ以テ定ムヘシト云フノ原則ハ帝國憲法ニ於テハ曾テ承認セラレサル所ナリ

又司法大臣意見書中民法財産編總則第二十四条無主物ハ所有權ノ目的トナルモノナルコト

国立国会図書館　伊藤博文関係文書（その1）書類の部 288-6

ヲ引用シ而シテ「又一ハ所有権ヲ保護スルカ為ミ外ナラサルヘシ」ト論セリ此ノ論モ亦甚タ穏當ナラサルカ如シ無主物カ所有権ノ目的トナリ得ルハ論ヲ待タス唯タ未タ何人ノ所有ニモ属セサル間ハ無主物ナリ即チ其ノ無主物タル間ハ之ニ就テ未タ所有権アルヲ得ス未タ有ルヲ得サル所有権ヲ保護スト雖ムト意義ヲナサス然レトモ無主物ハ所有権ノ目的トナルヲ得ルモノナリ故ニ其ノ生育ヲ保護スルハ國家ノ富源ヲ保護シ人民ノ幸福ヲ増進スル所以ナリトハ言フコトヲ得ヘシ果シテ國家ノ富源ヲ保護シ人民ノ幸福ヲ増進スル所以ナルニ於テハ則チ特猟規則ノ本来ノ性質ハ必スシモ法律ヲ要セス憲法第九条ノ命令権内ニアリト云ハサルヘカラス然シナカラ假ニ之ヲ所有権ヲ保護スルモノナリトスルモ所有権ヲ保護スルノ目的ヲ有スル法規ハ凡テ法律ナラサルヘカラストノ原則モ亦未タ曾テ帝國々法上ニ承認ヲ經サル所ナリ

司法大臣意見書第一段ノ理由ハ前文ニ論述セ

ル如ク一モ鳥獸猟規則ヲ法律トスルノ理由トナラス其ノ第二段ノ理由ハ左ノ如シ

一、民法ノ規定ニ則トリ法律トセサルヘカラス

二、免許税ハ租税ナリ故ニ法律トセサルヘカラス

民法ノ規定ニ則トリトハ何ノ規定ヲ指スヤ詳ナラス或ハ其ノ前段ニ引證セル財産取得編先占ノ部第三条第一項ヲ指スカ然ハ則チ文事秘書官長意見書ノ論旨ト同一ナリ依テ後段ニ於テ併セテ之ヲ論スヘシ

其ノ第二ノ理由即チ免許税ハ租税ナリトノコトモ亦遽カニ同意ヲ表シ難シ

免許税ハ税ト称ス然レトモ此ノ一事ハ免許税ノ果シテ憲法ニ称スル租税ニ属スルヤ否随テ其ノ賦課ハ法律ヲ要スルヤ否ヤノ問題ヲ決スルニ足ラス

何ヲカ租税トナスカト云フニ一般ノ學説ニ依レハ租税ハ或ル格段ナル國家ノ作用ニ對シテ其ノ作用ノ利益ヲ享ケ若ハ其ノ作用ヲ惹起シ

国立国会図書館　伊藤博文関係文書（その1）書類の部 288-6

タル一個人ヨリ収ムル報酬ニアラスシテ国家カ其ノ国家タル一般ノ作用ノ為ニ臣民ヨリ徴収スル強迫的賦金ナリトス租税ノ性質果シテ然リトセハ免許税ノ如キハ之ヲ租税ナリト云フヘカラス然レトモ憲法ハ租税ノ定義ヲ掲ケス故ニ其ノ定義ニ就テハ必スシモ異論ナキヲ保セス好シ異論アリトスルモ少ナクモ憲法第六十二条第二項ニ依リ名称ノ如何ニ拘ハラス其ノ性質報償ニ属スル行政上ノ手数料及其ノ他ノ収納金ハ法律ヲ要セスト断言スルヲ得ヘシ然ルトキハ免許税ハ税ト称スト雖其ノ性質報償ニ属スル行政上ノ手数料タルカ故ニ法律ヲ要セスト云ハサルヘカラス

司法大臣意見書第二段第一ノ理由ハ文書秘書官長ノ意見書ノ理由ト同シ而シテ文書秘書官長ノ意見書ハ此ノ理由ヲ更ニ詳言セリ曰若此ノ法文ニシテ財産取得編先占ノ部第三条第一項ヲ指ス特別法又ハ特別規則ヲ以テ之ヲ規定ストアリタランニハ法律又ハ勅令ヲ以テスルモ便宜ニ従フコトヲ得ト即チ法ヲ法律ト解シ

国立国会図書館　伊藤博文関係文書（その1）書類の部 288-6

規則ヲ命令ト解セリ然レトモ民法用語ノ例必スシモ然ラス例之ハ財産編(所有権ノ部)第三十四条第二項ニ「行政法ノ以テ定メタル規則云々」トアリ若「法」ヲ法律ト解シ「規則」ヲ命令ト解セハ本条ノ如キハ殆ムト意義ヲ為サス其ノ他「不法」「適法」「違法」皆其ノ「法」ヲ法律ト解スヘキ場合ノミニ限ラスシテ汎ク法規ヲ指スモノヽ如シ故ニ狩猟規則ハ之ヲ法律トスヘキヤ勅令トスヘキヤ「此ノ疑問ノ件ハ已ニ民法ノ正條ノ之ヲ判断シテ両議ニ渉ルヘキ餘地ヲ存セス」トハ根據ナキ論断ト言ハサルヲ得ス民法財産取得編第三条ハ唯タ狩猟権ノ行使ハ特別ノ法規ニ依ルヘクシテ民法中ニ規定セサルコトヲ明言シタルノミ即チ第三条ハ消極的ノ規定ニシテ其ノ法規ノ法律タリ又ハ命令タルヘキヲ積極的ニ規定シタルモノニアラス且ツ事理ヨリ之ヲ観察スルモ狩猟規則ノ法律タルヘキト命令タルヘキトヲ民法ニ於テ積極的ニ規定スヘキ理由アルコトナシ狩猟規則ハ主トシテ公共ノ安寧秩序ヲ保持スヘキ警察ノ目

国立国会図書館　伊藤博文関係文書(その1)書類の部 288-6

的ト國民ノ幸福ヲ増進スヘキ行政上ノ撫育ノ目的ニ出ツルモノニシテ所謂ル行政法ニ属シ一箇人ト一箇人トノ関係ヲ規定スル民法ノ部類ニ属スヘキモノニアラス即チ其ノ法律タリ命令タルコトヲ定ムヘキモノハ憲法ニシテ民法ノ範圍ノ及フ所ニアラス

故ニ若第三条ニ於テ特別法ト称スルハ法律ヲ指スモノナリトノ断定ニシテ正確ナラントモ其ノ法律ハ即チ特猟ニ関スル一切ノ規定ヲ包含スルモノナリトハ論結スヘカラス此ノ第三条ナル規定ハ民法財産取得編ノ規定ナリ其ノ第一章先占ノ規定ナリ即チ第三条ノ規定ハ元来無主ノ鳥獣ヲ特猟ノ權利ノ行使ニ依テ先占スル場合ニ於テ先占者カ其ノ鳥獣ニ就テ所有權ヲ取得スルノ規定ニ過キス而シテ第三条ハ此ノ所有權取得ヲ直接ニ規定セスシテ之ヲ特別法ニ譲リタルナリ故ニ其ノ特別法ニシテ法律タルヲ要ストスルモ其ノ區域ハ所有權取得上ノ規定ニ止マラサルヘカラス警察及行政上ノ撫育ノ目的ヲ有スル規定ニ及フヘキニアラス

然レトモ第三条ニ云ヘル特別法トハ法律ナリトノ論充分ノ根拠ナキハ上ニ既ニ之ヲ證明セリ故ニ本条ノ特別法トハ法律ヲ指シタルモノニアラス汎ク法規ヲ指シタルモノナリト解釋スルヲ妥當ナリトス

財産取得編第三条ニ依テ将猟規則ヲ法律ナリトスルノ論ハ其ノ論據僅カニ法ノ一字ニアリ而シテ其ノ法字ノ用例ニ就テモ深ク研究スルコトヲ欠ケルノミナラス公法私法ノ性質ノ如キハ全ク之ヲ蔑視シ直ニ法ノ一字ニ就テ解釋ヲ下セルモノニアラサルナキカ果シテ然ラハ是レ法律ヲ解釋スル適當ノ方法ニアラス凡ソ一國ノ法制ハ一ノ完全ナル系統ヲ為スモノナリ始終一貫シテ首尾相聯レルモノナリ故ニ法律ノ疑義ヲ断スルニ方テハ常ニ全体ニ着眼スルコトヲ怠ルヘカラス今財産取得編第三条ニ依テ将猟規則ヲ法律ナラサルヘカラストスルノ論ハ恰モ第三条ヲ単独孤立セシメ其ノ民法ノ何編ニアリヤ并ニ民法ハ法制全体ノ系統中ニ於テ如何ナル位地ヲ占ムルヤニ関係ナクシ

ヲ斷定シ下セルモノニシテ遂ニ速了ニ失スル
ノ嫌ヲ免レサルナリ
然ルニ民法ニ接ルノ論ハ之ヲ唱フル者亦少シ
トセサルカ如シ即チ内務大臣ノ附議モ亦「勅令
ヲ發シタレハトテ来年一ヶ年ノ効力ノミ明後
廿六年一月後ノ準備アランコトヲ希望ス」ト言
ヘリ蓋勅令ヲ發スルモ明治廿六年一月民法實
施ノ期ニ至レハ効力ヲ失ハントノ主意ナラン
其ノ詳細ノ理由ハ之ヲ知ルシ得スト雖要スル
ニ前ノ論者ト大同小異ナラン

蓋特權ノ權利ノ行使ハ其ノ事稍簡單ニシテ法
令ノ規定ヲ要スルモノ亦甚タ多カラサルニ依
リ或ハ法律ヲ以テ之ヲ規定スルモノナリト論
定シテ實際ニ痛癢ヲ感スルコト少ナリ論者或
ハ其ノ實際ニ痛癢ヲ感スルノ少ナルヲ見テ深
ク法理ヲ研究セス速了ニ斷定ヲ下シタルカ然
レトモ試ニ上来引證セラレタル第三条ニ特猟
ト並ヘ掲ケタル捕漁ニ就テ考察スヘシ維新ノ
後捕漁ニ関ル慣例法規ハ一時概ネ廢滅ニ歸シ
水面ノ經界ノ如キモ亦殆ムト全ク破壞セラレ

国立国会図書館　伊藤博文関係文書（その1）書類の部 288-6

タリ然ルニ近年ニ至リ漸ク其ノ秩序ヲ復シ其ノ領域ヲ定メントスルノ傾アリ而シテ昔日ノ慣例ハ既ニ其ノ効力ヲ失ヒ今日ノ法制ハ未タ一般ニ據ルヘキノ基礎ヲ為サス是ヲ以テ沿海各地ノ漁場ハ到處紛擾ヲ絶タス唯タ僅カニ其ノ紛擾ヲシテ甚シキニ至ラシメサルモノハ主トシテ府縣知事カ違警罪ノ範圍ニ於テ裁シタル府縣令ノ効力アルニ依ルノミ今若捕漁ノ權利ノ行使ハ法律ヲ以テ定メサルヘカラス捕漁ニ關スル一切ノ法規ハ法律ナラサルヘカラスト云ハヽ此等府縣令ハ忽チ無効ニ歸セサルヲ得ス而シテ捕漁ニ關スル一般ノ法規ヲ制定スルノ難ハ特權規則ヲ制定スルノ比ニアラス乃チ論者ノ速ヤカ斷定ノ結果ハ沿海漁村ヲシテ復タ無法無政ノ狀態ニ沈淪セシムルニ至ルヘシ論者若之ヲ思ハヽ亦應ニ反省スル所アルヘキナリ」

又内務大臣ノ附議ニハ「布告ヲ勅令ニテ取消ス事ハ萬出未ヌ事ナリ」ト斷言セリ是レ亦根拠ナキノ斷言ト云ハサル得ス命令ノ區域ノ制限ハ憲法第九条ニ明揭セリ曰ク命令ヲ以テ法律ヲ

變更スルコトヲ得スト此ノ他ニ命令ノ区域ニ関ル制限アルコトナシ乃チ帝國憲法ニ依レハ法律ニ属セサル区域ハ其ノ法律ニ属スルマテハ凡テ命令ニ属スト云ハサルヘカラス換言スレハ命令ノ及フ能ハサル区域ハ唯タ法律ニ属シタル区域ノミ尚此ノ他ニ布告ノ区域ナル者アリテ命令ノ区域ヲ制限スト雖ノ原則ハ憲法ニ於テ曾テ見サル所ナリ

或ハ布告ハ元老院ノ議ヲ經タルモノナルニ依リ憲法實施ノ後ニ於テル其ノ改正ハ帝國議會ノ協賛ヲ經サルヘカラストスルカ元老院ハ政体ノ沿革上帝國議會ノ前階ヲナシタリト雖明治廿三年十月別段ノ勅令ヲ以テ廢セラレ而シテ帝國議會ハ同年十一月憲法ニ依テ新タニ成立シタルモノナリ帝國議會ハ法律上元老院ノ継續者ニアラス故ニ布告ハ元老院ノ議ヲ經タルカ故ニ其ノ改正ハ帝國議會ノ協賛ヲ要スト云フハ法律上毫モ價値ナキ議論ナリ

加之明治十四年十二月第百壹號達ニ依レハ法律規則ヲ布告トシ従前各省限リ布達スル條規

国立国会図書館　伊藤博文関係文書（その1）書類の部 288-6

ノ類ヲ総テ太政官ノ布達トシ一時公布ニ止マルモノヲ太政官及諸省ノ告示トス此ノ区別ニ依レハ臣民一般ニ向テ遵由ノ義務ヲ負ハシムルモノハ殆ト皆布告ノ部類ニ属ス故ニ其ノ性質ヨリ云フモ従前布告ヲ以テ発布セラレタル法律規則中ニハ其ノ改正ニ法律ヲ要スルモノモ要セサルモノモ共ニ包含セルモノト云ハサルヲ得ス

以上ハ凡テ法律ヲ要ストセル意見書ニ付テ試ミタル評論ナリトス

農商務大臣ノ意見書ノ主意ハ以上ノ意見ニ反對シテ勅令ヲ以テ定ムルヲ得ヘシト云フニアリ其ノ勅令ヲ以テ定ムルヲ得ハシトスルハ當レリト雖其ノ意見書中ノ議論ニ對シテハ同意ヲ表シ難キモノアリ今其ノ重要ナルモノヲ論セン農商務大臣ノ意見書ハ憲法實施以前ノ法令ニシテ憲法實施以後ニ引續キテ有効ナルモノハ或ハ全部法律トシテ効力ヲ有シ或ハ全部勅令トシテ効力ヲ有ストノ意見ヲ承認シテ起草シタルモノヽ如シ此ノ全部法律トシテ効力ヲ有シ若ハ有

国立国会図書館　伊藤博文関係文書（その1）書類の部 288-6

セスト云ハル見解ハ誤謬ノ見解トス
憲法實施以前ノ法令ニ関テハ憲法第七十六条
ニ一ノ原則ヲ掲載セリ曰、法律規則命令又ハ何
等ノ名称ヲ用ヰタルニ拘ラス此ノ憲法ニ矛盾
セサル現行ノ法令ハ総テ遵由ノ効力ヲ有スト
即チ憲法ハ一様ニ之ヲ有効ト認メタルノミ或
ハ勅令トシテ有効ナリ又ハ法律トシテ有効ナ
リトスルカ如キ区別ヲ設ケス
或ル一ノ法令ヲ指シテ全部法律トシテ有効ナリ又
ハ有効ナラストト云フト単ニ憲法第六十七条ニ依リ
有効ナリト云フトハ改正ノ場合ニ於テ其ノ差異ヲ見
ルヘシ例ヘハ現行鳥獸猟規則ノ如キ若シ之ヲ法律トシ
テ有効ナリト云フトキハ則チ鳥獸猟規則全部既ニ
法律ノ区域ニ属シタルモノナルカ故ニ其ノ一条
ヲ改正スルモ全部ヲ改正スルモ皆法律ヲ以テ
セサルヘカラス故ニ全部法律トシテ効力ヲ有シ
若ハ有セストノ意見ヲ承認シテ現行鳥獸猟規
則ノ改正ヲ勅令ヲ以テセントセハ農商務大臣
ノ意見書ニ於ケルカ如ク其ノ全部法律ニアラ
サルコトヲ主張セサルヘカラス然レトモ憲法

国立国会図書館　伊藤博文関係文書（その1）書類の部 288-6

第七十六条ハ曾テ憲法實施以前ノ法令ニシテ或ハ
全部法律トシテ効力ヲ有シ或ハ全部勅令トシテ
効力ヲ有スルコトヲ言ハス唯タ其ノ効力ヲ有ス
ルコトヲ認メタルノミ故ニ現行鳥獸猟規則ヲ
改正スルニ方テモ亦必スシモ其ノ全部法律ト
シテ効力ヲ有スルト否トヲ問フ要セス而シテ
将猟規則ハ元来ノ性質ニ於テ勅令ヲ以テ規定
シ得ヘキコトナルカ故ニ始メヨリ勅令ヲ以テ
其ノ改正ヲ為スコトヲ得ヘシ但現行鳥獸猟規
則中偶〻憲法ニ於テ必ス法律ヲ要ストシタル
事若ハ憲法實施後既ニ法律ノ區域ニ属シタル
事ニ渉ルノ箇条アルトキハ此ノ箇条ノミハ新
定ノ勅令ニ依テ変更セラレス更ニ法律ノ手続
ヲ以テ改正セラルヽ迄効力ヲ有スルモノナル
カ故ニ此ノ箇条ノミハ即チ法律トシテ効力ヲ
有スト云フヘシ然レトモ此ノ一条アルカ為ニ
全部法律トシテ効力アルモノナリト云フニ至
テハ憲法第七十六条ノ精神ニアラス
以上主トシテ各意見書ニ付テ論述ス而シテ卑
見モ亦既ニ其ノ中ニ盡セリ今復タ其ノ大綱ヲ

国立国会図書館　伊藤博文関係文書（その1）書類の部 288-6

総括スレハ左ノ如シ

一、現行鳥獣猟規則ハ一般ニ銃猟ヲ免許スルカ故ニ土地所有権ヲ制限ストノ論ニ依テ其ノ改正ニ法律ヲ要スルノ理由トナスモノアリト雖一般ニ銃猟免許スルハ未タ土地所有権ノ制限トナラス

一、権利義務ニ関ル規定ハ法律ナラサルヘカラスト云ヘル原則ハ帝國憲法ニ於テ承認セラレタル原則ニアラス帝國憲法ニ依ル法律命令ノ分域ハ帝國憲法ニ明言シテ法律ナラサルヘカラストシタルモノ及一タヒ法律トナリタルモノハ法律ナラサルヘカラス其ノ他ハ之ヲ法律トシ若ハ命令トスルユヘ一ニ政畧上ノ問題ニ属スト云フニアリ而シテ政畧上大体ノ方針ハ止ムヲ得サルモノヽ外成ルヘク法律ト為サヽルニアリ是レ憲法ノ主義精神ニ淵源スル方針ナリ

一、銃猟免許税ハ税ト称スト雖其ノ性質報償ニ属スル行政上ノ手数料ナリ故ニ憲法第六十二条第二項ニ依リ法律ヲ以テ定ムルヲ要セ

国立国会図書館　伊藤博文関係文書（その1）書類の部 288-6

ス

一、民法財産取得編先占章第三条ニ将猟云々ノ権利ノ行使ハ特別法ヲ以テ之ヲ定ムトアル特別法ハ法律ノミヲ指スニアラス汎ク法規ヲ指スモノトス假令ヒ法律ヲ指ストスルモ民法ヲ以テ汎ク行政法ノ規定ヲ拘束スヘキノ理由ナキニ依リ其ノ指ス所ノ法律ハ単ニ所有権取得上ノ規定ニ止マラサルヘカラス将猟規則全体ハ此ノ条ニ拘束セラルヽモノニアラス

一、布告ト法律トハ法律上何等継續ノ関係ナシ又其ノ實質ニ於テモ相同シカラス故ニ布告ノ改正ハ法律ヲ要ストノ論ハ謬論ナリ

一、憲法實施以前ノ法令ニシテ實施以後ニ効力ヲ有スルモノハ憲法第七十六条ニ依テ効力ヲ有スヽ而シテ其ノ効力ヲ有スルニ於テ或ハ全部法律トシテ効力ヲ有シ或ハ全部勅令トシテ効力ヲ有スルノ別アルコトナシ憲法第七十六条ハ唯タ其ノ効力アルコトヲ認メタルノミ故ニ憲法實施以前ノ法令ニシテ其ノ

国立国会図書館　伊藤博文関係文書（その1）書類の部 288-6

性質命令ノ区域ニ属スルモノハ憲法実施以後ニ於テモ命令ヲ以テ之ヲ改正スルコトヲ得ヘシ必スシモ其ノ中ノ一条憲法ニ於テ法律ナラサルヘカラストシタル事ニ渉ルカ為ニ全部法律ヲ以テ改正スルノ必要アルコトナシ唯タ其ノ憲法ニ於テ法律ナラサルヘカラストシタル事ニ渉レル一条ハ法律ノ手続ヲ経テ改正セサル限ハ効力ヲ有ス

以上狩猟規則ヲ法律トスヘキヤ否ニ関スル大體ノ意見トス其ノ逐條ニ渉ル意見ハ茲ニ論及セス

性質命令ノ区域ニ属スルモノハ憲法実施後
後ニ於テモ命令ヲ以テ之ヲ改正スルコトヲ
得ヘシ必スシモ其ノ一条憲法ニ於テ法
律ヲサルヘカラストシタル事ニ渉ルカ為
ニ全部法律ヲ以テ改正スルノ必要アルコト
ニ鑑ミ其ノ憲法ニ於テ法律ヲサルヘキ者ニ付テ大躍ス
ヲ経テ改正セサル限リ
以上帝国憲法ノ法律ヲ
[illegible]

伊藤博文文書

国立国会図書館　伊藤博文関係文書（その1）書類の部 288-6